

くまむら



議会だより

2012.7.25

68号



チームの勝利に向かって力投!!

6月30日から郡市中体連大会が開催されました。球磨中からは野球・ソフトボール・ソフトテニス・バレーボール・剣道・水泳の6競技に出場し熱戦が展開されました。（写真は球磨中のエース 坂本壮真投手 川上哲治記念球場）

球磨村世帯数 1,609世帯
人口 4,342人・男 2,046人・女 2,293人
(H24年6月30日現在)
発行……球磨村議会
編集……球磨村議会広報特別委員会
熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地
Tel (0966) 32-1111

目次

6月定例議会……………	2～3
議長挨拶・議会構成 ……	4
一般質問 ……………	5～9
先人が汗と努力で 築いた毎床溝 ……………	10

6月定例議会

村長給料を20%削減 平成24年7月から平成28年3月までの間



平成24年第3回(6月)議会定例会を、6月12日から15日までの4日間の会期で開きました。提出された議案は、条例の制定2件、条例の一部改正1件、規約の一部変更2件、平成24年度球磨村一般・特別会計補正予算2件、請願書などの審議ほか、議会委員会条例で定めてあります常任委員並びに議会運営委員の選任がありました。定例会に上程されたすべての議案は慎重に審議し、原案のとおり可決されました。一般質問には5名の議員が登壇し、施策・行政課題などを議論しました。

会期4日間の初日の6月12日は、開会後、3月定例会以降の諸般の報告、監査報告、会議録署名議員の指名の後、会期の決定、一部

事務組合議会(人吉球磨広域行政組合、人吉下球磨消防組合)の報告がありました。今回提出された住宅リフォーム助成制度実施の請願について、紹介

が登壇、柳詰村長の公約に掲げた施策等ほか行政課題について、村長の考えや村の対応等を資し、活発な質問・答弁が行われました。

14日は、議会選出監査委員執務の例月出納現金監査日のため休会、最終日の15日には、上程された球磨村長等の給与の特例に関する条例の制定議案から審議されました。この条例は、平成24年7月1日から平成28年3月31日までの期間に村長及び副村長の給与月額から、村長は20%、副村長は10%を減じた額、教育長においては5%を減じた額とするもので、審議後決定されました。続いて、球磨村

議員である舟戸治生議員が請願の趣旨を述べた後、審議の結果、議会運営委員会に付託することが決定されました。続いて、柳詰村長より、提出された7議案について提案理由の説明がありました。

13日の一般質問には、5名の議員

印鑑条例の一部を改正する条例の制定、球磨村手数料条例等の一部を改正する条例の制定が審議され、いずれの議案も可決しました。議案第19号、第20号として上程された規約の一部変更については、採決の結果、2議案とも可決されました。

予算に関しては、平成24年度球磨村一般会計補正予算、介護保険特別会計補正予算の2会計予算をいずれも慎重に審議し、原案通り可決しました。

執行部提案のいずれの議案を審議、可決した後、2年ごとに改選される議会各常任委員、議会運営委員及び同各委員長、副委員長を選任しました。



条例

○議案第16号

・球磨村長等の給与の特例に関する条例の制定

球磨村長、副村長、教育長の給与月額の改正です。

○議案第17号

・球磨村印鑑条例の一部を改正する条例の制定

住民基本台帳法の改正により、一定の外国人が日本人同様に住民基本台帳法の適用を受けることから、印鑑の登録に関して所要の整備を行うため、本条例の一部を改正するものです。

○議案第18号

・球磨村手数料条例等の一部を改正する条例の制定

球磨村印鑑条例の一部を改正する条例同様、住民基本台帳法の一部を改正する法律及び法令等が施行されるに伴い、外国人登録法に基づき実施している行政サービスの条例等から外国

人の表記を削除する改正です。

規約

○議案第19号

・熊本県市町村総合事務組合規約の一部変更

熊本市の政令指定都市への移行に伴い、熊本県市町村総合事務組合の住所が変更になるものです。

○議案第20号

・熊本県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更

議案第19号と同様に、熊本市の政令指定都市への移行に伴う、熊本県後期高齢者医療広域連合所在地の住所が変更になるものです。

予算

○議案第21号

・平成24年度球磨村一般会計補正予算（第2回）

歳入歳出予算の総額にそれぞれ、7,699千円追

加し、歳入歳出予算の総額を28億09,615千円とするものです。

歳入では、国からの受託事務である中長期在留者居宅地届出等事務移行による国庫支出金に140千円、県支出金では、農業振興に係る各補助金、単県地山事業補助金として2,480千円のほか、一般財源として、普通交付税5,141千円を追加計上しました。

歳出の主なものとして、4月の職員の人事異動に伴う関係費目の組替及び職員昇格に伴う人件費の補正のほか、総務費では、渡駅公衆トイレの新設工事、渡多目的集会施設トイレの増改築工事及び球泉洞駅トイレの浄化槽設置工事に係る設計委託料651千円、農林水産業費では、農業振興費に国が進めている持続可能な農業の実現に向けた「人・農地プラン」の作成

に取り組む新農業推進対策本部委員報酬及び事務費を計上、戸別所得補償制度推進事業補助金では、県補助金として球磨村農業再生協議会事務費の補助金467千円を追加計上、畜産業費では、譲葉牧場周辺地域水道組合の飲料水検査役務費32千円を追加、林業費では、池下地区林地崩壊落石防止工事として3,999千円を計上しました。

○追加第1

・常任委員の選任について

総務常任委員会委員
文教・厚生常任委員会委員
経済・建設常任委員会委員
各常任委員会委員及び、各委員長、副委員長を選任しました。

○追加第2

・議会運営委員会委員の選任について

議会運営委員会委員及び、委員長、副委員長を選任しました。

○議案第22号

・平成24年度球磨村介護保険特別会計補正予算（第1回）

歳入歳出それぞれ、210千円を減額し、歳入歳

その他

出総額をそれぞれ6億37,627千円とするものです。

今回の補正は、平成24年4月の介護報酬改定に伴い「地域包括支援センター」に導入していますシステムの改修によるものです。

ご挨拶

議会議長
犬童 數元

皆様に一言ご挨拶を申し上げます。3月13日に開催されました定例議会におきまして、選挙により当選し、第19代議長の要職に就くことになりました。

その重責に、正に身の引き締まる思いがいたします。皆様には、日頃より議会活動に対し深いご理解と暖かいご指導を賜り大変感謝いたしております。議員一同、村民の皆様に信頼され常に対話のある「開かれた議会」であるように一層の努力をして参りたいと思います。

本村を取り巻く社会経済情勢は、益々厳しさを増しております。

す。少子高齢化による過疎化の影響で、急速な人口減少が進んでいるなかで、なんとしても雇用の場の確保と所得向上に全力を注ぎ、若者の流失を防ぐ施策が必要であります。

議会は村民の福祉を考え、村民の立場に立つて政策の最終決定の判断をしなければなりません。その決定された行財政運営が完全に達成できるよう監視することが、議会の職務だと考えます。私共議員一同一致協力して安心して住める村づくりに、邁進いたす覚悟でございます。これからも議会活動に関する情報は広報紙「議会だより」等でその都度お知らせいたしますこととしております。

議会に対しまして、更なるご指導とご協力をお願いし、皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。挨拶いたします。

議会構成

総務常任委員会

委員長 田代利一
副委員長 毎床文博
委員 嶽本孝司
委員 舟戸治生

文教・厚生常任委員会

委員長 松野富雄
副委員長 高澤康成
委員 愛甲泰治
委員 嶽本孝司

経済・建設常任委員会

委員長 浦野千尋
副委員長 舟戸治生
委員 松野富雄
委員 多武義治

議会運営委員会

委員長 愛甲泰治
副委員長 浦野千尋
委員 田代利一
委員 松野富雄
委員 多武義治

球磨村水防協議会

委員 毎床文博
委員 舟戸治生
委員 嶽本孝司
委員 高澤康成

議会選出監査委員

多武義治

球磨川改修事業等対策特別委員会

委員長 愛甲泰治
副委員長 犬童數元
委員 浦野千尋
委員 田代利一
委員 松野富雄
委員 舟戸治生

球磨村議会広報対策特別委員会

委員長 多武義治
副委員長 高澤康成
委員 嶽本孝司
委員 毎床文博

人吉球磨広域行政組合議員

浦野千尋
愛甲泰治

人吉下球磨消防組合議員

田代利一

六月定例 一般質問

農業の所得向上策は

村 長 6次産業化に取り組む

田代 利一議員

一、地域観光資源の活用について
二、農林業の振興について

田代議員

〓村長のマニフェストの一

つ、地域観光資源の活用について、球磨村には、球磨川を中心に多くの観光資源がある。その中で、注目されるのがラフティング事業ではないかと思う。ラフティングの関連業者は多くあり、収益は増加していると考える。しかし、球磨村に対する経済効果は疑問に思っている。この状況をどのように思うか。

村長

〓球磨村観光協会には、村内に住所があるラフティング業者が加入しており、接点があるが、それ以外の業

者との接点はない。今後、ラフティング協会と話し合いながら、球磨村に利益になるような施策を考えていきたい。

田代議員

〓地域観光資源の活用で、

球磨川沿岸の景観整備を進めると言っているが、どのように進めるのか。

村長

〓沿岸整備は、渡から一勝地ま

で植えた桜が成長し立派になっている。今後は、一勝地から八代方面にかけての球磨川沿岸の森林整備を進めて山桜などを植えていきたい。

田代議員

〓鵜口観音堂下の竹林の整備は、どうなっているのか。

産業振興課長

〓竹林については、平成23年度で部分的に間伐したところ

で、景観はよくなったと思う。引き続き今年度も間伐の計画を予定している。

田代議員

〓基幹産業が農林業の球磨村では、従事者の高齢化が進んでいる。農業を取り上げれば、耕作地は棚田が多く、面積も狭く、同じ収入を得るのに何倍の人手と経費が必要になる。そのような中、棚田保全活動によ

り、耕作放棄地がよみがえってきている。これを利用することで、高齢者の人にも年金プラス農業収入が見込め、

所得向上へつなげることができないか

と考えている。そのためには、高齢者でもつくれる手のかからない作物と販売ルートを確認する必要があると思う

が、村長の考えを。

村長

〓中山間地農業を再生し、稼げる農業を目指し、第6次産業に取り組む考えだ。本村は、大部分が棚田であることから耕作条件が不利の農業である。振興作物として、ほおずき、インゲン、ブロッコリー、オクラなどの野菜の栽培講習会をこれから実施していきたい。また、棚田保全活動により、

荒れた棚田が復元された田代、高沢地区では、これらの品目以外にも山菜であるフキ、ワラビ、ゼンマイなどの栽培をお願いし、年金プラス稼げる農業を目指し、加工から販売まで生産者が行う6次産業化に取り組みたい。

田代議員

〓JAの渡給油所が6月末に閉鎖する。そこを利用して農産物の販売所ができないかと思うが。

村長

〓農家の所得が上がるのであれば、やつてもいいと思うが、財政的なこともあるので検討してみる。

田代議員

〓活気あふれる村を実現さ

せるため、トップセールスマンとして全国を駆け回り、球磨村をPRしたいといわれているが。

村長

〓私もトップセールスマンとして、それに伴い職員にも外に出て、全国の進んだ市町村の状況を見極めて村政に反映させることが必要だ。

(質問時間60分)

豆知識

6次産業化〓生産(1次産業)、加工(2次産業)、販売(3次産業)を一体的に行い、活性化につなげていこうという考え方。1次+2次+3次〓6次産業とよんでいる。



近年修学旅行でも人気のラフティング

食糧確保に向けて 農地の保全啓もう をすべきではないか

長 農地の保全や振興は大事
で、後世の人に引き継いで
いくことが大切である

毎床 文博 議員

一、婚活、交流会の企画支援について
二、TPP関連に伴う農業振興について
三、人材育成について

毎床 議員

婚活、交流会の企画支援
については、9町村による首長協議の
中で窓口設置の申し合わせがなされた
ようだが、本村の具体的な取組は。

村長

婚活を総務企画課に設定し、
進行する晩婚化や少子化に対応すべ
く、球磨郡全体が結婚支援を行い活性
化につなげるよう協力して取り組む。

総務企画課長

担当職員の研修を行
い、出会いの機会を創出する婚活イベ
ント、結婚のためのレベルアップ、自
分を磨くセミナーの開催を計画して
いる。

毎床 議員

要はいかに成婚に結び付
けるかが課題であり、積極的な参加と

担当者の熱意に期待する。

次に、日本がTPPへ参加した場合
の農水省試算は、日本の主食である米
は10%となり、食料自給率も13%へ低
下する予測で、消費者は国産の安い米
が食べられると勘違いしている。本村
のような小規模農家でも、自給自足、
食糧確保に向けて農地の保全啓もうを
すべきではないか。

村長

農地の保全や振興は大事で、
中山間地域直接支払交付金事業や棚田
応援隊による遊休農地の再生事業に取
り組んでいる。今耕作している農地を
維持し、後世の人に引き継いでいくこ
とが大切である。

毎床 議員

本村の現状は棚田が多
く、高齢化が進んできている。近年は
トラクターなど大型機械の導入も多く
なり、コスト高で維持が厳しくなっ
ている。元気な農業者が多いうちに受委
託等のモデル事業に取り組むべきでは
ないか。

産業振興課長

地形上、トラクター
が入るようなところは少なく、受委託
に係る経費関係で現実には厳しい状況に
あるが、モデル事業はJAとも協議し
ていく。

毎床 議員

次に、人材育成につい

て、近年の社会経済情勢の厳しさに伴
う財政問題・村人口の減少などで、職
員数も減少せざるを得ない状況にある
が、一方では国政の変革・多様化に伴
う事業の拡大、事務も複雑化していく
中に、住民のサービス、負託にこえる
のは当然のことだ。常に村民をリード
していく体制も求められるが、職員の
適性化の現状と考える。

村長

行政改革については、大綱を
定め取り組んでいる。人員を削減して
も事務量が減るわけではないので、事
務事業、組織機構の見直しにより、職
員削減による事務量の増加に対応でき
るよう、定員適正化計画を図る。職員
数は平成18年度82名に対し、平成24年
度は64名であり、類似団体の指数から
みて適正と思う。

毎床 議員

職員数の減少は財政面で
は適正だが、住民のサービスや事務が
複雑化してきているなかに、現状は適
正と思えるか。

総務企画課長

事務量に対応するに
は、職員一人一人が業務を知りつくさ
なくてはならず、あらゆる分野の研修
を重ね、対応できるよう育成する必要
がある。今すぐに業務を合併するのは
厳しく、再度検討できればと思う。

毎床 議員

職員資質の向上として、
通常の研修はもとより課内での教育、
訓練も大事だと思うが、研修内容と成
果は。

総務企画課長

研修協議会の計画に
基づき、初任者、職歴経験、新規係
長、課長、更に市町村アカデミーなど
各セクションに合った研修を行ってい
る。各課では朝礼、終礼を行い、特に
新人は大きな声での挨拶や、業務内容
の報告を義務づけている。

(質問時間50分)



棚田の風景 (鬼の口棚田)

マニフェストにおける取り組み内容は

長 しっかりとした計画を立て
働く場の確保と所得向上を
村 目指す

高澤 康成 議員

一、マニフェストにおける取り組み
内容について

高澤議員

「現在、国も地方もかつてない厳しい時代にあり、従来の手法あるいは感覚では、自治体として存続できないといったことが懸念され、今後より一層の努力が必要と考える。そこで、村長の掲げる7つの公約のプロセスについて伺う。」

村長

「私は、選挙において共助のむらづくり・農林業の振興・地域観光資源の活用・高齢化にやさしい村づくり・若い世代が誇りを持てる村づくり・治水急傾斜対策・村長給与の見直しを掲げた。なんといっても働く場の確保と所得の向上を目指さなければならぬ。」

高澤議員

「農林業の振興策として

第六次産業の取り組みを訴えているが、鳥獣被害等で生産意欲が失われている。まずは被害対策が必要だが、予算編成では昨年と同額になっている。どうしてか。

村長

「最大限の努力をする。予算関係は鳥獣害も含めてやっている。」

高澤議員

「業務委託し特産品開発をおこなっているが、4月30日の人吉新聞にて「人吉球磨の魅力再発見」の記事で、クイズに答えて粗品進呈する企画で球磨村だけが掲載されていない事について伺う。」

産業振興課長

「記憶にございませぬ。内容がどういったものか確認します。」

高澤議員

「村民所得を向上させるうえで、一勝地温泉「かわせみ」と田舎の体験交流館「さんがうら」について伺う。かわせみについては23年度260万円程の赤字となつていますが村長は24年度で赤字を改善すると言っている。具体策はあるのか。」

村長

「私の中では、まだ固まっているが、一か月ごとの決算書を出

すように指示している。そして、かわせみの職員と共に考えるべきと思っている。物産館が伸びているので更に伸ばしていきたい。」

高澤議員

「「さんがうら」について、補助金ありきの事業であり本来に一つの事業として成り立っているのか。」

産業振興課長

「言われるとおり補助金が占める割合も非常に多い。催し等について地域の方々にも話しましたが、なかなか毎回は集まっていただけなかったこともあり、地域の協力なしではとてもやっていけるものではないのでご指導頂きたい。」

高澤議員

「次に若い世代が誇りを持てる村づくりについて、まだ人口減少・少子化等改善されていない状況だが。」

村長

「所得と共に人口減少は村にとって大きな問題である。まず若い世代と対話する事が大事だ。定住化促進の住宅団地も必要で、今後は婚活等ソフト面の対策も行っていくと考えている。」

高澤議員

「新規事業・継続事業に對し正しい方向づけをしなければ、行財政改革とは言えない。実行するうえで大切な事は、計画と予算編成、費用対効果の分析・評価・中間評価による次年度の対策と予算編成が大事だ。また住民へ説明義務を果たす事も何より重要である。村長の今後の計画についてどのような指導あるいは、指示をしていくのか決意を伺う。」

村長

「私も、議員時代費用対効果と言ってきた。指摘があったように各課長が、計画の時点で十分に研究して、対応していきたいと思う。なお、大きな事業については、議会に示し前へ進みたいと考えている。」

(質問時間60分)

渡地区の治水対策 については

長 国と県に強力に要望活
動を続ける

舟戸 治生 議員

一、災害・防災について
二、観光商業について

舟戸議員 〓治水対策と急傾斜対策

について、渡地区で県による河川改修が進められ、新しい小川橋もできあがったが、いまだに内水による被害や田畑の冠水被害、住宅の孤立など地域住民は大変心配している。安心できるのはいつなのか。果たして対策が実現できるのか。そういった住民の声が聞かれる。国や県に対し、要望活動を行っていくとは思いますが、村長の考えを聞きたい。また、急傾斜地対策事業を推進されている。これからの計画はあるのか。さらに、土砂災害対策において、その取り組みを伺いたい。

村長 〓渡地区の内水排水対策につ

いては、引き続き出水時に速やかな対応ができるよう国交省に要望して

いる。小川の河川改修工事は、平成24年度の工事説明会を6月21日に行うことにしている。また、渡の22地区の中に土石流危険ヶ所が19ヶ所、急傾斜地崩壊危険ヶ所が30ヶ所確認されている。土石流対策は、内布川ほか19ヶ所が砂防事業により整備され、山林の崩壊対策では、境目々大槻間を治水事業により整備を進めている。今後も、住民が安全で安心して暮らしていけるため、国と県への要望活動を強力に続けていきたい。

舟戸議員 〓要望書の内容も、浸水

して実際、被害を受けた住民の心のもるような内容になると、国や県も心が動き対策が早くなるのではないか。

村長 〓今、言われたような方法も

可能と思っている。

舟戸議員 〓次に観光客を誘致し、

地元の商業と連携をしながら観光商業に取り組んでいきたいとの考えだが、具体的な内容を聞きたい。

村長 〓球磨村には資源として、棚

田、球磨川、肥薩線がある。棚田は農地の保全や美しい景観を保持していくため、さらには都市住民とのかわりを持った事業展開を図る目的

で、棚田保存会を設立している。これまで、棚田写真コンテストや田植え・稲刈りツアーなど、さまざまな取り組みを行っている。今後も保存会への助成や棚田まるごと博物館事業を続けて、安定的な農業と観光客の誘致に力を入れていきたい。また、球磨川は淋地区内の柴立姫神社を中心に、駐車場、散歩道、芝生広場やラフティング、球磨川下りの休憩所を整備し、地場物産等の紹介や販売を行う商業的な施設整備を進め、観光客誘致に努めていきたい。肥薩線は、世界遺産登録に向け、沿線の首長とともに強力に進めていきたいと考えている。

舟戸議員 〓「かわせみ」や

田舎の体験交流館「さんがうら」も厳しい経営状態が続いている。この施設の目玉事業として、ラフティングの経営は考えられないか。

村長 〓以前にもそのような

話があったことは聞いている。しかし、「かわせみ」や「さんがうら」でラフティングの経営をすることは考えさ

せていただきたい。

舟戸議員

〓運動公園の桜も整備され立派になっている。そこで、村民が主役の球磨村桜祭りを実施し、村の農産物や特産物の販売を行う。そのような企画はできないか。

村長 〓桜祭りを実施したらとの意見だが、検討する。

(質問時間60分)



河川改修事業により新しくなった小川橋

渡と神瀬の役場出張所の考えは

長 早急に検討しなければ
村 ならない

多武 義治議員

- 一、前村長の施策の継承について
- 二、渡と神瀬の役場出張所開設の考え
- 三、役場休日窓口の考え
- 四、森林資源の活用について
- 五、山林の固定資産税について

多武議員

「3月に行われた村長選挙や所信表明などで、村長は、前村長の考えを継承し、やり残された施策や想いをやり遂げなければならぬ」と発言されている。私も村長とは6年間、議会活動が続けてきたが、前村長の考えに対しては、どちらかといえば批判的な立場ではなかったかと思う。前村長の考えをいつから引き継ぐと思ったのか。

村長

「確かに議員時代は、どんな意見を言っていた。2月2日に、前村長が急逝され、2月9日に予定されていた執行部と議会による国交省と県に対しての要望活動について、副村長から中止してはどうかと

の申し出があった。しかし、相手側も忙しい中、予定されたとの思いから、私も議長として計画どおり実施した。この頃、村長選挙を考えるようになった。前村長も、いろいろな想いがあったと思うし、任期も2年残されていた。それならば、それをやり遂げるのが村政を担うものであると考え、定かではないが2月10日前後だったと思う。

多武議員

「次に、役場出張所の開設については、神瀬区長会からの要望書や、一般質問で数回にわたり要望したのを受けて、今年3月までの一年間、渡と神瀬の多目的集会所を利用して、窓口業務を実施してきた。一年間の試行期間が終わり、今後どうするつもりか。

村長

「常時職員の配置が必要な出張所の設置は厳しいと考えている。しかし、役場より遠隔地に住まいの方は、来庁されるのに苦労されていることも十分承知している。昨年に引き続き、開設となると、常設も考えられるが、地方自治法に基づく窓口出先機関設置の条例改正や、その他の方法で郵便局窓口への委託なども考えられ、早急に検討しなければ

ならないと考えている。

多武議員

「昨年の一般質問で、前村長に「試行期間中の結果にとらわれず、やめることがないように」との問いに「試行期間は、その後のどのようなサービスができるか探る期間なので誤解がないように」との答えだった。前村長の考えを継承するのであれば、実施する必要があると思う。

次に、休日の役場窓口業務について、以前から平日に仕事をされ役場に来られない人を中心に、この話がよく聞いていた。役場も休日は直制で、職員が出勤しているもので、内部でよく検討し実施の方向で進めてもらいたい。

村長

「休日の窓口業務については、県内10市町村で諸証明の発行業務を実施している。今後は、自動交付機で諸証明の発行に取り組んでいる市町村の状況把握が必要と考えている。また、税金などの収納の要望があれば、対応する職員やお金の保管等、考慮する点もあるので、ほかに利便性を考えた実施可能な方法がないか検討する。

この他、同議員は森林資源の活用について、村有林を法成林化して安

定した働く場の確保を要望した。また、平成24年度から地籍調査により課税された、山村の固定資産税の問題点についても質した。

(質問時間60分)

豆知識

法成林化「例えば50ha所有している山林を、毎年1haずつ伐採、植林していけば、50年後には1年生から50年生まで1haずつの林分となる。さらに、この施業をくりかえしていくこと。



役場窓口業務

先人が汗と努力で 築いた毎床溝

15区長 毎床 喜代利

那良川を湯原の下で堰を築いて、延長8キロメートルに及ぶ溝が毎床の地区内を流れています。
260年前の宝暦年間に水田を拓くため、人吉藩主の相良頼峰公に願い出て工事を始めました。
毎床の人たちは1年5ヶ月間に、堰づくり、岩石割り、石垣積み、トンネル掘りなど、延べ8,330人の出夫で苦労しましたが、開削以来、生活用水、防火用水、水田、梨園の灌漑用水として、集落内をくまなくはり巡らされており、地区民の生命線として大切に受け継がれています。



平成3年には、大自然の恵みと先祖の苦労、溝の管理、集落の景観等が評価され、第1回熊本県農村景観大賞を受賞しました。この大切な溝を守るため、3月には井手普請、6月と9月には草払いを区民総出で行い、協力して維持補修に努めています。
また、開削されて200年後の昭和26年には、堰溝をコンクリートにするなどの大改修が行われ、その完成記念碑が毎床中央にある堂山に「毎床溝記念碑」として建立されています。碑文を鑑賞すると先人のご苦労が偲ばれ、今を生きる毎床地区民の心のよりどころとなっています。

編集後記

「私は、本を読むのがとても好きです。最も好んで、よく開く本は国語辞典です。それは、日頃から知っている言葉でも、私の知らない別の意味が載っていて、とても興味深いのです。私にとって国語辞典は読み物なのです。」これは、新聞を読んでいたときに見つけた投稿の一部です。

私も、日頃から国語辞典をよく利用します。今、持っている辞典は30年以上前に購入した古いものです。時代の変化に応じ改訂を施した現代の辞典と比べれば、内容に古臭さを感じるころがあります。しかし、それがとても新鮮に思えるときもあります。その辞典を開き、一つのものを調べようとしても、そのページの初めて触れる言葉に目が移り、時間だけが過ぎてしまいます。

私にとっても、国語辞典は「読み物」なのかもしれません。

(多武 義治)

広報委員長	多武 義治
広報副委員長	高澤 康成
広報委員	毎床 文博
広報委員	嶽本 孝司